



## 平成27年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年7月27日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 レッグス  
コード番号 4286 URL <http://www.legs.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長  
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長  
四半期報告書提出予定日 平成27年7月28日

(氏名) 内川 淳一郎  
(氏名) 平賀 一行  
配当支払開始予定日

TEL 03-3408-3090  
平成27年9月11日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年12月期第2四半期の連結業績(平成27年1月1日～平成27年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第2四半期	5,128	△7.4	301	△8.7	326	△7.4	189	10.0
26年12月期第2四半期	5,535	15.4	330	503.5	352	410.0	172	—

(注) 包括利益 27年12月期第2四半期 314百万円 (100.6%) 26年12月期第2四半期 156百万円 (895.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第2四半期	18.05	17.60
26年12月期第2四半期	16.56	16.07

平成26年12月1日付で普通株式1株につき2株の割合での株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益および潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
27年12月期第2四半期	5,931		4,250		70.9	
26年12月期	5,609		3,993		70.5	

(参考) 自己資本 27年12月期第2四半期 4,208百万円 26年12月期 3,956百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	—	0.00	—	8.00	8.00
27年12月期	—	4.00	—	—	—
27年12月期(予想)	—	—	—	12.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

27年12月期第2四半期末配当金の内訳 記念配当4円00銭

### 3. 平成27年12月期の連結業績予想(平成27年1月1日～平成27年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,900	4.0	725	16.2	745	11.8	410	11.3	38.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年12月期2Q	10,840,000 株	26年12月期	10,840,000 株
② 期末自己株式数	27年12月期2Q	288,800 株	26年12月期	344,000 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年12月期2Q	10,516,413 株	26年12月期2Q	10,415,600 株

平成26年12月1日付で普通株式1株につき2株の割合での株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期中平均株式数(四半期累計)を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費については、持ち直しの兆しがみられ、雇用・所得環境の改善傾向が続くなかで、原油価格下落の影響や各種政策の効果もあり、緩やかな回復基調が続いています。

当社グループが属する広告・販促業界においては、大手広告代理店の業績が前年比を上回るペースで堅調に推移しており、当社グループの事業領域であるプロモーション領域におきましても同様の傾向にあります。

このような状況下、当社グループでは、中期経営計画において策定した市場戦略に基づいて従来の戦略市場である流通および日用雑貨業界を中心に、VMD商材（注）、WEB連動キャンペーンなど、昨今の顧客の販促ニーズの変化に対応した商材提供による既存顧客の深掘りに加え、その他の業界での新規顧客開拓や、キャラクター物販などの商材等、戦略市場および提供サービスの幅をひとつひとつ広げるべく積極的な事業展開を行ってまいりました。

当第2四半期連結累計期間における当社グループの経営成績は、まず売上高において、日用雑貨顧客向け等が好調だったものの、前年同期はワールドカップ関連ならびに飲料顧客向けの消費税増税対策キャンペーン等の特殊要因があり、全体としては前年同期比で減収となりました。一方、売上総利益率は、全社的な利益率改善活動の結果、前年同期比で上昇したものの、営業利益、経常利益は、前述の減収により前年同期比で減益となりました。四半期純利益は、前年同期に事業再編整理損の特別損失を計上していたため、前年同期比で増益となりました。

また、海外展開については、平成27年5月27日に公表いたしました「子会社設立に関するお知らせ」のとおり、ASEAN地域においてさらなる事業拡大を図るため、キャラクター商品の製造販売および輸入販売ならびにマーケティングサービスの提供をするためのインフラ整備を進めております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は5,128百万円（前期比7.4%減）、営業利益は301百万円（同8.7%減）、経常利益は326百万円（同7.4%減）、四半期純利益は189百万円（同10.0%増）となりました。（注）商品展示効果を高めるため、店舗全体の空間デザインから商品の展示・陳列までを統合的に提供する商材およびサービス

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べて322百万円増加し、5,931百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が減少したものの、現金及び預金が増加したことによるものです。

#### (負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比べて65百万円増加し、1,680百万円となりました。これは主に、流動負債の「その他」が減少したものの、買掛金、未払法人税等および固定負債の「その他」が増加したことによるものです。

#### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比べて257百万円増加し、4,250百万円となりました。これは主に、利益剰余金およびその他有価証券評価差額金が増加したことによるものです。

#### (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末と比べて757百万円増加し2,646百万円となりました。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果得られた資金は781百万円（前年同期比325.4%増）となりました。これは主として売上債権の減少558百万円等による資金の収入があったことによるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果得られた資金は35百万円（前期は99百万円の支出）となりました。これは主として保険積立金の積立による支出13百万円等があったものの、投資事業組合からの分配による収入51百万円等による資金の収入があったことによるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果支出した資金は64百万円（前年同期比11.9%増）となりました。これは自己株式の売却による収入19百万円があったものの、配当金の支払83百万円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において、平成27年6月1日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,888,835	2,646,468
受取手形及び売掛金	2,371,133	1,813,638
商品	264,158	318,840
その他	185,694	137,196
流動資産合計	4,709,821	4,916,143
固定資産		
有形固定資産	32,859	29,204
無形固定資産	84,645	72,855
投資その他の資産		
投資有価証券	499,385	639,001
その他	282,562	274,545
投資その他の資産合計	781,947	913,547
固定資産合計	899,453	1,015,607
資産合計	5,609,275	5,931,751
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	756,763	804,296
未払法人税等	53,315	137,830
賞与引当金	60,360	65,802
その他	398,088	284,632
流動負債合計	1,268,527	1,292,560
固定負債		
長期末払金	184,389	184,389
退職給付に係る負債	162,860	170,965
その他	—	33,044
固定負債合計	347,250	388,398
負債合計	1,615,777	1,680,959
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	220,562	220,562
資本剰余金	335,400	347,007
利益剰余金	3,251,876	3,357,762
自己株式	△62,359	△52,367
株主資本合計	3,745,479	3,872,964
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	88,113	206,465
繰延ヘッジ損益	72	—
為替換算調整勘定	122,649	128,859
その他の包括利益累計額合計	210,834	335,324
新株予約権	37,183	42,502
純資産合計	3,993,497	4,250,791
負債純資産合計	5,609,275	5,931,751

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)
売上高	5,535,503	5,128,618
売上原価	3,974,535	3,539,320
売上総利益	1,560,967	1,589,297
販売費及び一般管理費	1,230,737	1,287,731
営業利益	330,230	301,565
営業外収益		
受取利息	547	2,730
受取配当金	2,052	1,612
受取保険金	11,363	1,885
投資事業組合運用益	6,767	16,897
その他	3,278	3,912
営業外収益合計	24,009	27,037
営業外費用		
為替差損	1,474	1,413
その他	—	705
営業外費用合計	1,474	2,119
経常利益	352,765	326,484
特別利益		
債務免除益	—	775
特別利益合計	—	775
特別損失		
固定資産除却損	1,324	—
補償損失	5,115	—
事業再編整理損	19,271	—
特別損失合計	25,711	—
税金等調整前四半期純利益	327,053	327,259
法人税、住民税及び事業税	140,865	133,854
法人税等調整額	13,667	3,550
法人税等合計	154,532	137,405
少数株主損益調整前四半期純利益	172,521	189,854
四半期純利益	172,521	189,854

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	172,521	189,854
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,436	118,352
繰延ヘッジ損益	△524	△72
為替換算調整勘定	△22,725	6,210
その他の包括利益合計	△15,813	124,490
四半期包括利益	156,707	314,344
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	156,523	314,344
少数株主に係る四半期包括利益	183	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	327,053	327,259
減価償却費	25,960	26,746
貸倒引当金の増減額(△は減少)	4,030	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	3,270	5,399
退職給付引当金の増減額(△は減少)	15,738	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	8,104
受取利息及び受取配当金	△2,599	△4,342
売上債権の増減額(△は増加)	133,206	558,168
たな卸資産の増減額(△は増加)	△78,846	△52,289
仕入債務の増減額(△は減少)	△31,675	47,135
未払費用の増減額(△は減少)	△9,752	24,034
未払消費税等の増減額(△は減少)	5,855	△75,065
その他	38,657	△43,149
<b>小計</b>	<b>430,897</b>	<b>822,001</b>
利息及び配当金の受取額	2,583	5,076
法人税等の支払額	△249,713	△79,125
法人税等の還付額	9	33,815
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>183,777</b>	<b>781,768</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	△103,200	—
有形固定資産の取得による支出	△6,299	△1,443
無形固定資産の取得による支出	△22,900	△5,944
保険積立金の積立による支出	△12,068	△13,428
保険積立金の解約による収入	22,811	3,952
貸付金の回収による収入	860	—
投資事業組合からの分配による収入	20,400	51,000
その他	949	1,407
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△99,447</b>	<b>35,542</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△57,285	△83,328
自己株式の売却による収入	—	19,248
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△57,285</b>	<b>△64,080</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	△11,985	4,401
<b>現金及び現金同等物の増減額(△は減少)</b>	<b>15,058</b>	<b>757,632</b>
現金及び現金同等物の期首残高	1,936,332	1,888,835
<b>現金及び現金同等物の四半期末残高</b>	<b>1,951,390</b>	<b>2,646,468</b>

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。